

2024 年度 国際リベラルアーツ学部 FD 活動報告書

2024 年度における国際リベラルアーツ学部の FD 活動は、全学の FD 方針に基づき、以下の取り組みを中心に実施した。

学生の多様性に対応し、学びを促す授業

活動内容と成果

多様性を増す学生に対し効果的な授業を実施するための能力と、教育的専門性を高めることを目標として、Universal Design for Learning（UDL）の視点からの授業分析を行った。今年度は、2024 年 4 月から 6 月にかけて、選ばれた教員が専門分野の模擬授業を行った。各授業後に特徴的だった側面について UDL を参照しながら議論すると同時に、異なる分野・領域からの視点やスキル等を紹介・共有することで、学習者にとってより効果的な授業を構想するための示唆を得た。2024 年に 9 月には、UDL の理解を深めるためのワークショップを行った。

評価

全教員にとって意義のある FD であったが、特に教授経験の浅い教員としては、学習者をイメージしながら UDL のアプローチを学ぶと同時に、異なる分野の知識・経験を有する同僚からの示唆を得ることは非常に有益であった。次年度以降は、授業観察の際に本 FD の効果を確認・評価する予定である。